



報道関係者各位

プレスリリース

2025 年9月25日
宮城県よろず支援拠点

20回を迎えた松島の絶景を守るボランティア 天然盆栽のような美しい無人島の整備活動 地域貢献を続ける地元のチカラ

漁業体験ができる民宿ハーバーハウスかなめ(宮城県利府町)は、来る10月4日(土)に、「第20回松島無人島・整備活動」を実施します。

<開催の背景と目的>

民宿ハーバーハウスかなめは、漁業体験ができる宿。宿の主人である漁師の櫻井保が天然の盆栽のように美しい松島湾の絶景の中で四季に合わせた漁業体験をウリにした宿を営んでいます。松島湾の隅から隅までを知り尽くした櫻井は、その日々の変化にも敏感です。

2019年の10月に櫻井が気付いたのは、その盆栽のように美しい島々の中でひととき美しい筍島(こうがいしま)の松の枯れでした。

毎日、海と島を見ているから気づく小さな変化。無人島の筍島では松枯れだけでなく、ツタや雑木により荒れかけていました。

そこで、櫻井は筍島を初めとする無人島の雑木・雑草刈りと松枯れ対策の整備を一人で始めたのです。

たった一人で始めた「松島無人島・整備活動」が回を重ねること20回。今では、有志が加わり月に1度のペースで開催。地元の利府高校生も定期的に参加、毎回20~40名で行っています。松島の美しく青い海と緑の島を守るため、櫻井たちの活動が続いています。

<開催概要>

第20回 松島無人島・整備活動

- 日時: 2025 年 10 月4日(土)13:00~15:00
- 場所: ハーバーハウスかなめ(集合)
- 参加費: なし 手ぶらで参加可能
- 内容: ハーバーハウスかなめ→出港→松島湾内無人島(子ノ島《このしま》) 雑木刈り
上陸と同時に海に網を仕掛け、雑草刈りが終わったら網を引き揚げ
獲れたての魚と一緒にハーバーハウスかなめに帰り、お疲れさん会を行います。

<参考資料 過去の実施内容>



<主催者 ハーバーハウスかなめ櫻井のコメント>

松島の絶景を子や孫の代まで残したくて、始めました。松島で生まれ育ち、漁師をやっていると、島のちょっとした変化に気がきます。盆栽のように美しい、松島の島々を手入れしていつまでも美しい島々であってほしいです。

手ぶらでも参加可能です。整備だけでなく色々なイベントを併せて開催しているので、ぜひ遊びと島の整備を楽しんでください。

連絡先

- ハーバーハウスかなめ
- 宮城県宮城郡利府町赤沼字須賀 98
- 櫻井保
- 電話番号: 022-366-7006
- メールアドレス: kaname555wisdom@gmail.com